



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
8/21 (月)	+ 500	+ 5,100	+ 5,600	国庫短期証券発行・償還 (3M) 国庫短期証券発行・償還 (1Y)	CP等買入 ▲100 国債補完供給 + 31,700		
8/22 (火)	+ 1,000	+ 1,000	+ 2,000				米：中古住宅販売件数 (7月)
8/23 (水)	トン	▲ 5,000	▲ 5,000	流動性供給			
8/24 (木)	トン	+ 1,000	+ 1,000				米：ジャクソンホール会合 (26日まで) 新規失業保険申請件数 (19日終了週)
8/25 (金)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000	流動性供給			日：東京CPI (前年比、8月) 米：パウエルFRB議長ジャクソンホール会合で講演

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初14日、537兆9,000億円から始まった。15日には年金定時払い等により、545兆7,700億円まで増加し、週末にかけて国庫短期証券、国債発行等により、544兆1,400億円 (速報) まで減少し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は、週初14日▲0.075%から始まった。15日は7月積み期の最終調整のため取り手の調達意欲が旺盛となり、同金利は▲0.029%まで急上昇した。16日以降の8月積み期は、調達サイドの慎重姿勢が見られ同金利は▲0.065%~▲0.060%での推移となった。

ターム物は、8月積み期スタートの2W~1M物が▲0.060%~▲0.050%で取引が見られた。

来週の主な予定は、国内では25日に東京CPI (8月) の公表などがあり、海外では25日に米パウエルFRB議長のジャクソンホール会合での講演などが予定されている。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.060 ~ 0.0100
2M	▲0.040 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

### <レボ>

足許GCは週初▲0.13%~▲0.11%で出合い。新積み期入りする15日の取引では▲0.11%近辺が出合いの中心となった。国債買入オペがオファーされた16日取引は▲0.13%近辺まで低下し、以降は▲0.13%~▲0.12%の狭いレンジで推移した。短国発行が重なった18日でも水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年438~451回債、5年149~160回債、10年350~371回債、20年180~185回債、30年65~79回債、40年13~

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.010

### <CP>

今週の入札発行総額は約3,800億円で、週間償還額 (約4,600億円) を上回った。発行市場は、夏季休暇の影響で案件数が少なく、落ち着いたマーケットとなった。発行残高は前週末の28兆2,301億円から17日時点で28兆2,579億円と小幅に増加した。発行レートは概ね0%からプラス圏での出合いが中心であった。

来週の週間償還額は、約9,100億円となっている。発行市場は、夏季休暇を終えた企業による調達が再開し、マーケットは活況となると思われる。発行レートは、0%近辺での出合いが中心となることを予想する。

### <TDB>

17日の1Y (1176回債) の入札は、最高落札利回り▲0.0559% (前回債▲0.1109%)、平均落札利回り▲0.0679% (前回債▲0.1218%) となった。18日の3M (1177回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1082% (前回債▲0.1042%)、平均落札利回り▲0.1154% (前回債▲0.1110%) となった。

来週は25日に3Mの入札が予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。